

ベストサービスアワード通信

決定!!

第3回ベストサービス賞

平成19年7月号

賞金30万円

「障害児と共に歩む～子ども達1人ひとりが輝ける保育～」



【 取り組み内容 】

- ・ 健常児と共に育つ為の保育環境を整え、健常児も本児も安定した生活が出来る環境づくりを行う。
- ・ クラスの指導案とは別に障害児の指導案(週案)と毎日の記録を書き、本児に合った保育を行う。
- ・ クラスの保育と加配保育で保育を分担し、役割を明確にする。
- ・ 加配保育士が障害児に関する研修に積極的に参加し、様々な保育方法を学ぶ。
- ・ 障害児の保護者と定期的に懇談を行い、保護者との連絡を密に取る。

中山いづみ保育園 中西莉紗 橋本昇子

ベストサービス賞受賞 喜びのコメント



この度は、素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。職員一同とても喜んでおります。

大きな三條会の中では比較的小規模な中山いづみ保育園ですが、職員で一丸となり、手探りで“統合保育”に取り組んできました。

相手は6歳という小さな子どもですが、その命や存在は、とても大きいものなのだと感じました。このレポートが一人でも多くの方の心に響き、私達の思いが届きますよう、心より願っています。

まだまだ勉強不足で、不十分な点は多々ありますが、これからも“一人ひとりを大切に…”の暖かい心を持ち続けながら、日々頑張っていきます。中山いづみ保育園のパワーをこれからも増々大きなものにしていきたいです。

平成19年3月13日に、第3回ベストサービスアワード最終選考研修を、広島プリンスホテルで開催しました。今回も、予選を通過した13のチャレンジレポートを各代表者が、緊張の中、発表されました。

今回、見事にベストサービス賞と賞金30万円を獲得したのは、中山いづみ保育園の「障害児と共に歩む～子ども達1人ひとりが輝ける保育～」でした。グッドサービス賞は、2つの厨房を1つにするための1年間の取り組みを発表した喜生園。入所者と園児の異世代間交流に取り組んだゆたか園でした。ナイス賞を受賞した10組の皆さん！施設内選考を通過した51レポートの中から選ばれ、最終選考にノミネートされたのですから、堂々の受賞です！本当に素晴らしい発表でした。おめでとうございます。

グッドサービス賞 賞金10万円

喜生園

「厨房ひとつ」で「心もひとつ」

社会福祉法人 三篠会 第2回ベストサービスアワード



グッドサービス賞をいただきありがとうございました。
2つある厨房を1つにする為に1年間、喜生園キャンパス全体で頑張ってきました。その結果、この賞をいただき大変うれしく思います。厨房ひとつの取り組みをするにあたって、ポンッと背中を押して下さった施設長や、バイキングという未知の世界と一緒に頑張ってくれた介護、看護の皆様には感謝したいと思います。

この発表をするにあたって、毎日遅くまで一緒に取り組んでくれた事務所の皆様、そして、なにより一緒に考え、ついてきてくれた調理員の皆様、感謝の気持ちでいっぱいです。今後もよりよいサービスが提供できるように日々努力をしていきたいと思っています。

喜生園 光永弘美 金丸香織(甲田)



ゆたか園

あなたに会いたくて ~入所者と園児の異世代間交流を通じて~

社会福祉法人 三篠会 第3回ベストサービスアワード



今回初めて参加させていただきました。各施設の発表を聞かせていただきとても勉強になりました。

このような場が与えられ、さまざまなサービスが紹介されることで、意識向上が図れ、三篠会全体が向上していくのではないのでしょうか。

私達も、他施設のすばらしい取り組みを参考にさせていただき、サービス向上めざして頑張っていきたいと思っています。

ゆたか園 西村さやか(三篠園) 榎浦友里
丸岡克子 上村誠司(白木の郷)

ナイス賞！ 賞金1万円

○ ふれあいデイサービス開設により 利用者のニーズに応える ○



利用者のケア等に関わるレポートが多い中で新規事業立ち上げという他とは違う分野のレポートだったので、発表が難しかったです。今回の研修で、他の施設の発表を聞くことができ、大変勉強になったので、来年度以降もこの研修に参加できるような取り組みを行ってまいります。

三篠園 山下孝博

○ 笑顔もうひとつ作戦「ひまわり通信」の定期発行 ○



本選にノミネートされ、大変光栄に思っています。皆様の前で、私ども仲間とともに取り組んだ活動が紹介できて大変うれしく思っています。今後とも、ご利用者の笑顔がひとつでも増やせるよう仲間の皆様とともに頑張っております。ありがとうございました。

ひうな荘 谷本恵宏

○ 利用者1人1人に対して他職種協同で行う 栄養ケアマネジメントの取り組みについて ○



今回初めてこのような場所での発表を経験させていただき、大変勉強になりました。取り組みにむけて、リハチーム、介護、看護、相談員、皆様の力で、ここまで来ることができました。ありがとうございました。

ひうな荘 下小城恵(ゆたか園) 田尻薫

○ 療養活動へのスヌーズレン導入 ～療育の充実を目指して～ ○



他施設の貴重な発表をたくさん聞くことができ充実した時間を過ごすことができました。今回受けた刺激を、さらなるサービスの充実に活かしていかなければと思います。ありがとうございました。

鈴が峰 国兼広史 梶川渉

○ 腸イキイキ!! スムーズな排便が生み出す笑顔 ○



第2回よりも内容を充実し、又、質を高くという設定を持ちながらも職員間の今回の取り組みに対して統一の意識を一番重視し、一丸となって成果も出た結果に、とても職員一同満足しています。今回の取り組みを今回だけに終わら

せる事なく、継続してさらなる業務改善、向上に努めたいと考えています。又、ノミネートされた他の発表も、とても素晴らしい内容ばかりで部署での取り組みが出来るものならば、検討していければと思います。

白木の郷 沖田ヨリ子 向井京子 岡村克敏 本田玲子

○ グッバイ！ 臭い！ ララライ ララライ ララライ ○



この度、このベストサービスアワードに発表者として参加させて頂けた事を本当に光栄に思います。自分の部署で取り組んだ事を皆に聞いてもらう気持ち良さを実感することができました。

ベストサービスアワードという場で、レポートを見て聞いて得たことは持ち帰り、今後の業務にいかせて行けたらと思います。ありがとうございました。

甲田 関平竜大

○ 安全で、個々にあった食事を目指して ～食事形態の変更と、食事介助の共通認識を 広める取り組み～ ○



3年目の参加で理事長が話されていた様に、かなり全体的にレベルアップしていると思います。来年はもっと、発表することにしぼって、もっともっとレベルアップしてチャレンジします。

鈴が峰

深谷邦子 川本真由子 梶川渉

ナイス賞！ 賞金1万円

○ ケアプランで施設を変える！ ○



1年間通じて施設全体で取り組んだ事を発表することができ、嬉しく思っています。これからも、より質の高いケアプラン作成を心がけて仁方全職員で頑張っていきます。

仁方 清水郁美

○ ご安全に ○



どの発表も一つ一つ熱心に取り組んでおられていたなと思えました。第4回を楽しみにするとともに、今回の発表を今後の支援に生かせればと思います。ありがとうございました。

大野寮 藤原英俊 津田容子

○ 褥瘡予防に対するリハビリテーション科の取り組み ○



入職後、初めて三篠会全体研修に参加させていただきました。また、演者として、沢山の演題の中から選出されて参加できたことを大変光栄に思います。

発表としては、褥瘡対策委員会という施設全体の業務のなかで、利用者様のメリットを最優先に考えリハ部としての関わり方を模索、活動し、そこで得た知見でした。しかし、それは質的な観点からであり、データのような量的な裏づけをするには難しいものでした。

また、発表スライドや資料などの作成はリハ部の同僚が惜しみなく手伝ってくれたために素晴らしいものでしたが、実際の発表の場面で伝える気持ちや技術が不足していたと感じました。今後はこれらのことを吟味し、日常の業務の中にもいかしていきたいと思えます。業務多忙の中、遠方への研修に参加させていただき感謝いたします。

ソレイユ川崎 兼子 健

☆☆☆ 推進事務局より ☆☆☆

今回のベストサービスは、各施設から推薦された51組のチャレンジレポートの段階ですでに高レベルでした。それだけに、最終ノミネートされた13組の関係者の皆様には心より敬意を表します。「やらなければならないこと」をやるのは当然…として捉えられがちですが、実はそれだけでも結構大変なことです。そのような中であって「取り組まなくともサービスは成立するアイデア」だけで、より満足いただくためには必要な「アイデア」に取り組む姿勢や、その取り組みを評価する文化が浸透していくことを願っています。本年度もアワードの会場で多くの方とお会いできることを楽しみにしています。

☆☆ 常務理事 酒井亮介 ☆☆

ベストサービスアワードについて

業務改善やサービス向上などの取り組みをまとめたチャレンジレポートを提出しエントリー

↓
1次選考(施設内選考)…12月末日

↓
2次選考(評価委員)…1月上旬

↓
最終選考研修(レポート発表及び表彰)

ベストサービス賞 30万円 1組
グッドサービス賞 10万円 2組
ナイス賞 1万円 10組

企画の段階から、ずっと携わってきたベストサービスアワードも、本部相談員卒業ということで、企画運営は今回で最後となりました。今回の発表は、内容もさることながら、パワーポイントの映像、音楽などの演出も凝っていて、裏方泣かせでもありました。しかし、そんな中でも個人的な意見ですが、発表に一番気持ちが伝わってきた中山いづみ保育園のレポートがベストサービスを受賞したことは、なんか嬉しかったですね。これからも長い将来、三篠会の看板イベントとして、発展してくれることを祈っています。第4回は、せつかく現場に戻る事ができたので、発表する側で参加したいですね。

☆☆ 推進事務局OB 野間久司(あすらや荘) ☆☆

今回より、ベストサービスアワード推進事務局の一員に加えていただきました。前任の野間相談員をはじめ、みなさんのお力を借りながら、この企画をより盛り上げるべく、タイムリーな情報を発信しようと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

☆☆ 推進事務局 秋國朋広 ☆☆

社会福祉法人 三篠会
ベストサービスアワード推進事務局
平成19年7月発行